

10月は「骨髄バンク推進月間」です。 あなたにしか救えない命があります。

公益財団法人日本骨髄バンク
理事長 岡本 真一郎

公益財団法人日本骨髄バンクは、白血病をはじめとする血液疾患の治療のために移植が必要な患者さんと移植治療に必要な造血幹細胞を提供するドナーをつないでいます。

1人でも多くの患者さんを救うためには、1人でも多くの方のご理解と、1人でも多くの方のドナー登録が必要です。特に30代以下の若い方のドナー登録が少ない状況でもあります。10月は骨髄バンク推進月間として、厚生労働省の呼びかけの下、特に集中的に骨髄バンク事業の普及啓発活動を行うこととなっています。

この機会にぜひ骨髄バンクという社会の仕組みを、1人でも多くの方に知って頂き、移植を待つ患者さんの助けとなりますよう、ご協力をお願い申し上げます。

■ 日本骨髄バンクの現状 2024年3月末時点

- ・ドナー登録者数 554,123人
- ・骨髄・末梢血幹細胞提供者累計数 28,678例

2023年度 新規患者登録者数 1,822人

ドナーが国内患者に提供した件数 1,086件

2023年度（2023.4月～2024.3月計）

移植が必要な患者さんの約2人に1人しか移植が受けられていません。

■ 骨髄バンク推進月間とは

広く多くの方に骨髄バンクの移植に対する深い関心と理解を得るとともに、一人でも多くのドナー登録につながるよう、骨髄バンク事業推進のための広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施すべく、厚生労働省が定めています。

実施期間：令和6年10月1日（火）から10月31日（木）までの1ヶ月間

啓発活動：全国の都道府県において骨髄バンクに関するコーナーの設置。

ポスター・パンフレット・チラシ等を市町村、献血ルーム、

コンビニエンスストア等に配布、掲出。

ドナー登録会や滋慶学園COMグループによるミュージカルなどのイベント実施



▲10月の推進月間に向けて作成した新ポスター

■ デザインコンセプト

骨髄バンクのキーカラーであるオレンジをメインカラーに作成しました。目からこぼれる涙はドナーが提供できた喜びの涙を表しています。

また、ドナー登録や提供はもちろんのこと、年齢や既往歴でドナー登録できない方でも、ほかのアクションで協力することができるということを表現しました。

<お問合せ>

公益財団法人日本骨髄バンク (<https://www.jmdp.or.jp/>) 担当：水口、梶原、鈴木

TEL：03-5280-1789（平日9：00～17：30）MAIL：kouhou@jmdp.or.jp

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7階

■ 今後予定しているイベントについて

9/21(土)	WMDD/世界骨髄バンクドナーデー
9/22(日)	世界CMLデー（慢性骨髄性白血病の日）
9/26(木)	映画「いちばん逢いたい人」バリアフリー上映@ユニバーサル映画祭2024
9/28(土)	NHK「プロジェクトX」再放送予定 ※放送延期の可能性あり ※情報解禁9/21
10/3(木)4(金)	滋慶学園ミュージカル「明日への扉-Hospital Of Miracle」神戸公演
10/5(土)6(日)	骨髄バンクチャリティー オープントーナメント 第56回全日本空手道選手権大会
10/6(日)	横浜プレガンド音心 骨髄ドナー登録推進企画チャリティコンサート
10/14(月・祝)	熊本市/骨髄バンク事業普及啓発イベント(映画「いちばん逢いたいひと」)
10/18(金)19(土)	滋慶学園ミュージカル「明日への扉-Hospital Of Miracle」福岡公演
10/19(土)	骨髄バンクを支援するやまがたの会 映画「いちばん逢いたい人」上映会・トークセッション
10/19(土)	高知県骨髄バンク推進協議会 第30回高知県骨髄移植講演会
11/3(日・祝)	2024 LIVE FOR LIFE 音楽彩
11/9(土)10(日)	献血・骨髄バンクキャンペーン・イベント 東京雪祭SNOWBANK PAY IT FORWARD2024「献血・骨髄バンクを未来に伝える」

■ 滋慶学園COMグループ 社会貢献ミュージカル

滋慶学園グループは全国に80校展開している教育機関です。滋慶学園グループでは、骨髄バンクへの理解を深めてもらおうと、1994年からミュージカル「明日への扉」を上演しており、その趣旨を受け継ぐ新しい作品として誕生したのが明日への扉「Hospital Of Miracle」です。このミュージカルは学生たちが社会貢献を目的にそれぞれの力を結集して創りあげました。耳の不自由な方にも楽しんでもらえるよう、セリフを字幕でも表示したり、手話コーラスにも挑戦、終演後には募金活動も行っています。

■ 舞台のあらすじについて「Hospital Of Miracle」

生きる希望を失った少女が、難病と闘いながら精一杯に明るく振るまっている少年、患者の心を癒すホスピタル・クラウンらとの出会いを通して、前向きに立ち直っていくというストーリー。



■ 継続している取り組み

① 若年層への普及啓発の強化

SNS等オウンドメディアでの発信強化ほか

X（旧Twitter）：<https://x.com/JMDP1789>

Instagram：<https://www.instagram.com/jmdp.donors/>

② ドナー休暇制度の導入推進

提供に必要な通院や入院のための「骨髄バンクドナー休暇制度」の導入を企業・団体をお願いしています。

<ドナー休暇制度導入について>

<https://www.youtube.com/watch?v=ZNr4PIqT2rY>

現在骨髄バンクでは、新しいドナー登録の方法として、スワブキットを用いたオンライン登録の導入を検討しております。（2026年導入予定）

10月は「骨髄バンク推進月間」 全国の中でも積極的な取り組みを行う滋賀県

公益財団法人日本骨髄バンク

理事長 岡本 真一郎

公益財団法人日本骨髄バンクは、白血病をはじめとする血液疾患の治療のために移植が必要な患者さんと移植治療に必要な造血幹細胞を提供するドナーをつないでいます。

1人でも多くの患者さんを救うためには、1人でも多くの方のご理解と、1人でも多くの方のドナー登録が必要です。特に30代以下の若い方のドナー登録が少ない状況でもあります。10月は骨髄バンク推進月間として、厚生労働省の呼びかけの下、特に集中的に骨髄バンク事業の普及啓発活動を行うこととなっています。

この機会にぜひ骨髄バンクという社会の仕組みを、1人でも多くの方に知って頂き、移植を待つ患者さんの助けとなりますよう、ご協力をお願い申し上げます。

■ 日本骨髄バンクの現状 2024年3月末時点

- ドナー登録者数 554,123人
- 骨髄・末梢血幹細胞提供者累計数 28,678例

2023年度 新規患者登録者数 1,822人

ドナーが国内患者に提供した件数 1,086件

2023年度（2023.4月～2024.3月計）

移植が必要な患者さんの約2人に1人しか移植が受けられていません。

■ 滋賀県の取り組み

日本骨髄バンクでは全国の自治体に骨髄バンク事業の推進等を目的として推進連絡協議会の設置・活動をお願いしております。その中でも特に積極的に活動している滋賀県は毎年ドナー登録者数を増やしています。そんな滋賀県の取り組みについてご紹介いたします。

① 語りべ講演会の実施

「語りべ講演会」開催数は全国2位！※

移植経験者、提供経験者の方からの講演を実施。主に高校での講演会を開催することで若年層の認知獲得につながっています。※1位は大阪府

	県A	県B
高等学校	2	6
大学等	4	0
その他	6	2
合計	14	12

高等学校での
回数増加！

② 大学等での登録会

献血会場の隣でドナー登録会を開催。若年層のドナー獲得につながっています。

③ ドナー休暇制度導入促進

独自でチラシを作成し、市町保健所のほか、コンビニエンスストアに配布、設置。
労働広報誌に、ドナー休暇制度推進を求める記事の掲載。周知拡大に貢献しています。

▼滋賀県の詳しい取り組みについてはこちらのURLをご参照ください。

https://www.jmdp.or.jp/pdf/pref_mtg/4shiga.pdf



▲ 高校での語りべ講演会の様子

<お問合せ>

公益財団法人日本骨髄バンク (<https://www.jmdp.or.jp/>) 担当：水口、梶原、鈴木

TEL：03-5280-1789（平日9：00～17：30）MAIL：kouhou@jmdp.or.jp

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7階

■ 骨髄バンク推進月間とは

広く多くの方に骨髄バンクの移植に対する深い関心と理解を得るとともに、一人でも多くのドナー登録につながるよう、骨髄バンク事業推進のための広報・啓発活動など様々な取組を集中的に実施すべく、厚生労働省が定めています。

実施期間：令和6年10月1日（火）から10月31日（木）までの1ヶ月間

啓発活動：全国の都道府県において骨髄バンクに関するコーナーの設置。

ポスター・パンフレット・チラシ等を市町村、献血ルーム、

コンビニエンスストア等に配布、掲出。

ドナー登録会や滋慶学園COMグループによるミュージカルなどのイベント実施



▲10月の推進月間に向けて作成した新ポスター

■ 新ポスターデザインコンセプト

骨髄バンクのキーカラーであるオレンジをメインカラーに作成しました。目からこぼれる涙はドナーが提供できた喜びの涙を表しています。

また、ドナー登録や提供はもちろんのこと、年齢や既往歴でドナー登録できない方でも、ほかのアクションで協力することができるということを表現しました。

■ 滋慶学園COMグループ 社会貢献ミュージカル「Hospital Of Miracle」 関西で開催

全国に80校展開している教育機関の滋慶学園グループでは、骨髄バンクへの理解を深めてもらおうと、1994年からミュージカル「明日への扉」を上演しており、その趣旨を受け継ぐ新しい作品として誕生したのが明日への扉「Hospital Of Miracle」です。このミュージカルは学生たちが社会貢献を目的にそれぞれの力を結集して創りあげました。耳の不自由な方にも楽しんでもらえるよう、セリフを字幕でも表示したり、手話コーラスにも挑戦、終演後には募金活動も行っています。

「Hospital Of Miracle」 関西公演予定

- ◎10/3（木）・10/4（金）
@明石市民会館（アワーズホール）
- ◎11/21（木）・11/22（金）
@森ノ宮ピロティホール



■ 継続している取り組み

① 若年層への普及啓発の強化

- ・大学など若者が多く集まる場所でのドナー登録会開催
 - ・SNS等オウンドメディアでの発信強化等
- X（旧Twitter）：<https://x.com/JMDP1789>
Instagram：<https://www.instagram.com/jmdp.donors/>

② ドナー休暇制度の導入推進

提供に必要な通院や入院のための休暇を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先に特別休暇として認めていただく「骨髄バンクドナー休暇制度」の導入を企業・団体をお願いしています。

<ドナー休暇制度導入について>

<https://www.youtube.com/watch?v=ZNr4PIqT2rY>

現在骨髄バンクでは、新しいドナー登録の方法として、スワブキットを用いたオンライン登録の導入を検討しております。（2026年導入予定）